

# 光の子だより

令和6年2月29日  
千葉市立作新小学校  
校長 遊間 京子

学校教育目標:一人一人のちがいを大切に「かしこく あたたく たくましい」子どもの育成

☆期待する子ども像☆

自ら学び、よく考える「かしこい」子ども  
思いやりのある心豊かな「あたたかい」子ども  
丈夫な心と体を持つ「たくましい」子ども

1年の結びの時期となりました。この1年間どうだったでしょうか。振り返ればあっという間だったと思います。ご家族で子どもの成長に喜びを実感できたら嬉しい限りです。学校と共にある保護者や地域の皆さまのご理解やご協力があつたからこそ、子どもの生活や学びが充実したのだと思います。

3月19日は第46回卒業証書授与式を予定しています。6年生との生活も残りわずかですが、関わったすべての仲間に対して、相互に感謝の気持ちが伝えられると素敵ですね。

## 「ありがとう」

2月27日(火)に「6年生を送る会」が開催されました。5年生が中心となり会の進行を行いました。3幕構成で5年生によるLIVE放送WayWayでオープニングとなり、クイズや早口言葉で盛り上がりしました。2幕はなかよし班活動で、各学年よりクイズや歌と共に感謝のメッセージが伝えられました。3幕は6年生一人一人にスポットライトが当たり、将来の夢等を宣言しました。最後にさくしんライダーズが登場で、これまでの学校での生活を楽しく演じました。関わったすべての人が互いにありがとうの気持ちを伝える時間は素敵な時間となりました。



## 「学校評議員会」

今年度2回目となる学校評議員会を実施して、6年生を送る会にも参加していただきました。9名の学校評議員の方々には、これまでも学校を温かく見守りながら支えていただきましたが、今回学校の成果や課題について触れて、これからも子どもを中心として、よりよい作新小になるために、参考となる貴重なご意見をいただきました。

## 「挨拶」

私の住んでいる近くの公園で出会った、ご高齢の方から聞いた話なのですが、小学生に「おかえり」と声をかけると、うつむいて「何て答えたらよいかわからないよ。だって、おばさんは家族でもないし、ここは家でもないから。」と言われたそうです。気軽に「おかえり」という声をかけたのですが、あいさつがしづらかったのではと疑問だった様子です。小学生はどんな反応が最適だったのでしょうか。地域の方とのコミュニケーションで、知らない人からの声かけですが、やはり自宅でなく家族でなくとも「ただいま」という一言でよかったのではないのでしょうか。昨今、防犯上でもどうすべきかは迷うところですが、声をかけられ少々困惑している姿が想像できます。いつもとは違う時や場で、どのように振舞うかについては、ご家庭でも話題にしてみてください。

## おまけ「大ピンチ」

子どもたちに人気の大ピンチずかんは、日常のあるあるの姿がリアルに描かれている絵本です。私たちはいつもピンチと隣り合わせで、起きてしまったことを、最小限にして留めながら生活しています。ピンチの場面を、どう乗り切って動けるかが明暗を分けるもので、最善の選択ができるかも人として大きな能力の一つです。(もちろん起きないようにすることがベストですが) 不測の事態が起きた際の振る舞いが、人として試されるのかもしれない。